

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
1	10番 保坂好一 予定日時 12月6日(木) 10:00～11:00	市長の市政運営に 対する所信表明に ついて	1 いくつになっても活躍できる仕組みづくり について	市民力の高いまちとして、シニア世代の方々が公民館などで多く活躍しています。市長の考える学びなおし支援や、何歳でも学び続けられる環境について具体的にお伺いします。
			2 トップセールスについて	活力ある産業のまちにするには、就農支援・事業継承支援・設備投資支援など施策の拡充が必要です。また、君津ブランドを知っていただくためのPR活動も大切なことと思います。そこで、JAきみつ・君津商工会議所との積極的な結び付きが必要に感じますが、トップセールスの考え方を含め、見解をお伺いします。
			3 観光行政について	地域の特性を活かした観光の活性化と郡ダムの水上スキーの今後の展開、また、体験型グリーンツーリズムの考え方について、見解をお伺いします。
			4 職員人事について	行政力を高めるためには、職員個々人のポテンシャルを引き出すことが大切です。そのポテンシャルをどのように引き出し、市民ニーズに合致した市政運営につなげるのか、見解をお伺いします。
			5 対話する市政について	市長の基本姿勢は「対話する市政」と表明されています。市民との対話の機会を増やし、市民の声を積極的に取り入れていくとのことですが、見解をお伺いします。
		協働のまちづくり について	文化のまちづくり市税1%支援事業について	事業開始から10年が経過し、補助期間が終了する事業や、所期の目的とは異なる事業が出てきていると思います。当初の基本理念を見直す必要性なども含め、今までの成果と、今後の方向性をお伺いします。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		教育行政について	1 市長の学校再編に対する認識について	現在、少子化の急速な進展による、学校の小規模化の問題は深刻さを増しています。本市では、その課題に対応するため、積極的に学校再編の取り組みを進めているところです。市長は所信表明においても、公教育の充実を掲げていますが、学校再編についてどのような認識なのか、見解をお伺いします。
			2 エアコン設置の進ちょく状況について	小中学校の普通教室へのエアコン設置について、子どもたちの教育環境を改善するために一刻も早い設置を望むところですが、来年の夏までに設置できるのか、現在の進ちょく状況をお伺いします。また、経費削減にあたり、どのような考え方で進めているのか、併せてお伺いします。
2	21番 小 倉 靖 幸 予定日時 12月6日(木) 11:15~12:15	所信表明と政治姿勢について	1 鈴木前市長の政策継続について	鈴木前市長の3期12年の市政運営では、財政の健全化につとめるとともに、君津文化の創造を幅広く支援する「文化のまちづくり市税1%支援事業」の実施や、高齢者が健康でいきいきと暮らしていけるよう、地域の方々が主体となった「健康増進モデル事業」を市内各地域で開講するなど、すばらしい実績もあります。こうした中、時代に対応した変革をすることは重要なこととは認識していますが、前市長の政策をどの程度引き継ぐのか伺います。また、新たな市政運営のリーダーとしての意気込みをお聞かせください。
			2 オール君津での取り組みについて	所信表明で述べられている市長の目指す都市像「希望に満ちた君津の未来」の実現のためには、「オール君津」での取り組みが必要とのことです。そこで、市長の公約に加え、選挙中に他の候補者に寄せられた市民の思いについても、今後の市政運営に活かしていく考えはあるのか伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			3 第3次まちづくり実施計画の策定について	現在、まちづくり構想で定める将来都市像の実現に向けて、指針となる第3次まちづくり実施計画（平成31年度～平成34年度）の策定の準備を進めていると思います。計画を策定するにあたり、所信表明で述べられた施策の実現に向け、どのように策定作業を進めていく考えなのか伺います。
		人口減少に歯止めをかける施策について	1 企業誘致の具体的展開について	石井市長は、人口減少対策の施策として企業誘致を掲げています。本市への企業進出の現状は農業関連企業が中心となっていますが、企業誘致による人口増加には、幅広い就労機会の創出のため、さらに製造業、サービス業など多様な業種の企業進出も望まれます。そのためには、かずさアカデミアパーク内への企業進出の状況から、新たな用地の確保も必要であると考えますが、今後の企業誘致の具体的展開について伺います。
			2 交通利便性の高さを活かした宅地や商業地域などの計画的整備について	本市は、高速バスの増便や新規路線の開設により、交通の利便性がより一層向上し、住宅地のポテンシャルは高いことから、新たな住宅地や商業地等の供給が人口減少に歯止めをかける手段になると考えます。 これまで、君津インターチェンジ周辺の土地利用について検討してきたと思いますが、新市長としてどのように進めていくお考えか伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			3 三世代同居、近居に寄与する施策について	人口減少対策の根本的な考え方として、三世代同居、近居に寄与する施策を展開することは重要であると考えます。私たちが子どもの頃は、三世代が同居し、家族で支え合って生活してきました。近年では、高齢者や子育ての福祉サービスが充実してきており、地域社会で支援する方向ですが、緊急時などには対応できない部分もあり、家族間の支援が大切であると考えます。そのため、三世代同居、近居を奨励する取り組みをどのように進めていくのか伺います。
		教育行政について	1 周南公民館の再整備について	公民館は、地域創生の拠点として、これからの地域の未来を担う重要な施設です。市内8公民館のうち、昭和40年代に建設された公民館は4館あり、周南公民館については築45年を経過し、今年7月18日付で、周南地区自治会連合会から、周南公民館の早期の建て替えについて要望書が提出されました。 現在の周南公民館は、敷地全体の約7割が借地であること、また、建物北東側が、土砂災害の恐れのある傾斜地に隣接することから、ファシリティマネジメントや安全面を考慮し、別の場所へ移転しての建て替えなどを検討すべきと考えますが、見解を伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2 周南小中一貫教育校の施設整備について	平成30年4月から、周南小中学校にて小中一貫教育がスタートして8か月ほどが過ぎました。小中一貫教育フォーラムも行われ、ソフト面では様々な取り組みが進められていますが、ハード面での取り組みが見えてこない状況です。周南小学校は平成17年度、20年度に大規模改修が行われた一方、周南中学校は平成23年度、25年度に耐震補強のみを行っており改修がされていません。君津市学校再編第1次実施プログラムにおいて示されている統合校については、大規模改修が行われ教育環境の整備が図られていますが、同じく特色ある学校づくりとして小中一貫教育が示されている周南中学校の改修や、将来のあるべき姿はどう考えているのか伺います。
		保育行政について	幼児教育・保育の無償化について	2019年10月から、幼児教育・保育の無償化が実施される予定です。国は無償化にあたって、各自治体にも財政負担を求めていく案を提示しているようですが、市としての対応及び無償化に伴う保育需要など、施設整備への影響について、見解を伺います。
3	5 番 佐 藤 葉 子 予定日時 12月6日(木) 13:15～14:15	今後のまちづくり 構想と市政運営について	1 まちづくり実施計画について	市長の所信表明で示した4つの柱「市民力」「産業力」「都市力」「行政力」の再生に向けて、現行の総合計画を基に市政運営を推進されるのか伺います。また、過日の市長選挙において石井市長の市政変革の強い主張が、有権者の心を掴んだと感じますが、次期まちづくり実施計画に公約をどのように反映させるのか伺います。さらに、計画における施策の着実な推進に向けて、庁内横断的な組織改正も必要と考えますが、見解を伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2 来年度予算編成の考え方について	1 予算は市長の考え方や政策が反映されたものであり、本市の設計書ともいうべきものであります。限られた財源の中で多様なニーズに対応していくためには、行政評価を十分活用し、事業の優先度、緊急度等を精査し、事業の見直しと選択、重点化が必要と考えます。どのように着手し、取り組んでいかれるのか伺います。 2 平成31年度予算編成方針の中で、地方交付税制度への取り組みについて「人口を増加させる施策は、市の重要課題であるだけでなく、交付税の算定にも影響があることを意識する」とありますが、本市が不交付団体であることに対する市長の評価と見解を伺います。また、人口増加策を来年度予算にどのように反映させるのか、併せて伺います。
		女性が輝く社会について	1 男女共同参画社会の推進について	1 本年「第4次君津市男女共同参画計画」が策定されましたが、1次から3次までの結果がどのように生かされているのか伺います。また、特徴について伺います。 2 平成26年1月施行の改正「DV防止法」、平成28年4月施行の「女性活躍推進法」がどのように生かされ、推進されているのか、取り組みについて伺います。
			2 待機児童解消対策について	女性の活躍推進、若者の定住促進等を考えたとき、待機児童解消は急務であります。本市の待機児童発生の要因と解消に向けた取り組みについて伺います。また、民間活力を導入した保育環境整備の現状と今後の見通しについて伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 在宅子育て支援の強化について	孤独な育児で負担を感じる親への支援がまだまだ必要であり、保育園を利用する家庭と在宅育児家庭との負担の格差は厳然であります。その差を埋める支援が重要と考えますが、在宅子育ての応援体制とその強化策について伺います。
			4 不育症の周知と支援について	妊娠した女性の16人に1人が不育症であるといわれていますが、厚生労働省研究班によると、検査や治療によって、80%以上の方が出産にたどりつけると報告されています。不妊症と比べ、いまだ不育症を知らない人が多く、流産、死産したことによって、心身ともに大きなダメージを受け、強いストレスを抱えたままであるとお聞きします。正確な情報提供など支援が必要と考えますが、不育症について、本市ではどのような認識をお持ちなのか伺います。また、相談できる窓口体制や周知啓発等の支援をどのように行っているのか伺います。
		君津市の魅力を活かす取り組みについて	1 特産品の普及と地産地消の拡大について	1 本市において農業は重要な地場産業であり、市内では、地域の特産を活かした農業経営も行われています。本市では、カラーやジビエなど特産品のブランド化や販路拡大、地産地消の拡大を図っていますが、その取り組みと成果を伺います。また、交付金を活用した事業の当初の計画に対する進捗よく状況について伺います。 2 今後、更なる農業振興を図るための取り組みについて伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			2 森林保全につながる有効活用について	1 市域の64.7%を占める森林は国有林、市有林及び民有林を問わず維持管理の担い手不足により荒廃していますが、地球規模の温暖化防止や保水機能等、重要な資源です。木材利用の奨励、間伐材活用事業の普及、木材バイオマスの企業支援及び自伐型林業の導入を強力に推進すべきと考えますが、見解を伺います。 2 森林吸収源対策に係る地方財源を確保するため、平成30年度税制改正において創設された森林環境譲与税が、平成31年度から市町村に配分されます。本市における使途と期待される効果について伺います。
4	9番 平田悦子 予定日時 12月6日(木) 14:30～15:30	所信表明について	1 「目指す都市像」について	市長の目指す「希望に満ちた君津の未来」の条件として3つの柱が掲げられていますが、その中でも1点目、「人口減少に歯止めがかけられた持続可能な地方都市であること」における「持続可能な地方都市」とはどのようなもののでしょうか。また、3点目の「どんな状況にあってもすべての市民が幸せをあきらめないまち」とは何を意味されているのか、具体的な考えをお伺いします。
			2 生涯学習支援施策について	「市民力」の項目で述べられている学びなおし支援や生涯学習の充実、何歳でも学び続けられる環境の整備、とはどのようなことを行うのか伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			3 経済活性化支援施策について	1 「産業力」の項目で述べられている中小企業の持続支援の拡充、商業地域の活性化にむけた実行力のある支援とは何か伺います。 2 現在、木更津市が行っている地域経済活性化にむけた「アクアコイン」の活用は、市長の述べられている商業地域活性化に寄与する取り組みであると考えます。本市でも取り組むべきと感じますが、見解を伺います。
			4 子育て世代に対する支援施策について	「都市力」の項目で述べられている子育て支援や教育の充実で転出抑制を図るという点については、本市は大手鉄鋼関連企業の若い社員が就職と同時に住んでくれることから、その若者の結婚、出産といったタイミングでの転出抑制が特に人口減少対策として重要だと考えます。現在、保育園では待機児童が出ており、子育て世代にとっては君津市が選ばれにくい状況であると考えますが、どのように解決されるのか伺います。また、公約に掲げられていた「出産祝い金の拡充」についてはどのように考えられているのか伺います。
			5 行財政改革について	「行政力」の項目で述べられている事業・予算の見える化、行財政改革とは、具体的にどのようなことを行うのか伺います。
			6 市民協働について	「行政力」の項目に市民協働等の更なる推進とありますが、本市ではこれまで市民活動の活性化のために「文化のまちづくり市税1%支援事業」に取り組んできました。この事業の今後の方向性と「更なる推進」という点についてどのような取り組みを考えられているのか伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		教育行政について	君津市学校再編第2次実施プログラム構想案について	先月君津地区において、第2次実施プログラムの構想案についての地域説明会が行われました。その案の中で、今後、適正規模を満たさない小学校の見直しが必要との説明がありました。今回の説明会をふまえ、今後学校再編についてどのように進めて行くのか見解を伺います。
		ごみの発生抑制策について	ごみの減量化に向けた取り組みについて	1 本市では、市民のみなさんの協力のもと、家庭ごみは細かい分別を行い、リサイクルをすることでごみの減量化を推進しています。その努力の結果でもある、現在の減量化の状況、およびリサイクルの状況について伺います。 また、平成29年10月よりミニ袋の販売も行われていますが、その販売・活用状況を伺います。 2 可燃ごみのうち大きな割合を占める、食品の食べ残しを減らすために国では「食品ロス削減国民運動」を推進しており、千葉県でも「ちば食べきりエコスタイル」を展開しています。本市も、現在「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参加していますが、今後の取り組みについて見解を伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
5	7番 石上 壘 予定日時 12月7日(金) 10:00~11:00	所信表明について	1 教育支援の充実について	公教育の充実、就学支援、奨学金制度の拡充で、子どもの可能性を最大限に伸ばす教育を充実させるとともに、学びなおし支援や生涯学習を充実させ、何歳でも学び続けられる環境を整備するとしていますが、市長の考える新たな支援の充実とは何か、お伺いします。
			2 都市力について	1 住宅整備や転入支援の拡充などで新しい市民を招き入れるほか、子育て支援や教育の充実で転出抑制を図るとしてはいますが、次期まちづくりに反映させる具体的な施策としてどのようなことを考えているのかお伺いします。 2 農業体験や自然探検などグリーンツーリズムの開発や合宿誘致など、近隣都市からの確実にリピートが見込まれる施策に注力し、観光を活性化する、また、君津らしさを活かした観光振興の推進と公約にもありますが、具体的にどのような考えなのかお伺いします。
			3 広域連携について	近隣自治体及び県との連携を強化し、広域な観点での行政力も同時に高めていく、また、市内だけでなく、近隣自治体との対話を深め、かずさ4市一体の生活圏・経済圏に見合った、行政運営の在り方を研究し、推進するとしていますが、県及び近隣自治体への働きかけを含めた今後の展望をお伺いします。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		学校再編について	学校再編の実施プログラムについて	1 君津市学校再編第2次実施プログラム構想案について、第5回目の説明会が各地区で開催され、今後の具体的実施内容への意見要望等をいただき、またアンケートも実施するなど、幅広い視点からの再編内容が何通りも検討されていることと思います。 統合・学区の見直しや弾力的な運用と併せて、各小学校の適正規模の確保を目指す方向性は示されましたが、施策実施後に各中学校の適正規模が確保されるのかお伺いします。 2 第1次実施プログラムが実施され、来年度開校予定の周東中学校の施設整備の進ちょく状況及び小中一貫教育が開始されている周南小中学校の今後の施設整備についてお伺いします。
		保育環境整備について	待機児童解消について	保育環境整備として、本年4月に宮下どろんこ保育園への民間移行、そして小規模保育園の開園など着実に事業展開が図られています。来年度、新たに小規模保育園の開園が予定されていますが、現在の進ちょくとその他に予定されている民営化対象園への事業者参入の状況についてお伺いします。
		安全安心なまちについて	防犯対策について	電話de詐欺（振り込め詐欺）、架空請求詐欺防止への対応や防犯ボックスの運用開始などの対策を講じている一方で、自転車盗難など軽犯罪対策・不審者に対する対応策が遅れていると感じます。巡回パトロールの強化は図られていますが、防犯カメラの増設も効果的に進めていただきたいと思います。見解をお伺いします。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		情報発信について	デジタルサイネージの有効活用について	デジタルサイネージの設置により、庁舎案内のほか、市のプロモーションビデオによる市の魅力など市政情報が効果的に発信され、見やすさや分かりやすさ、利便性の向上が図られました。情報発信の有効な手段の一つとして効果を発揮しているほか、設置事業者からの賃貸料も新たな収入源となっています。 デジタルサイネージは、産業力のPRや観光に資するPR活動にも有効と考えますが、活用の可能性について伺います。
6	8番 松本 裕次郎	所信表明について	1 現状と課題について	人口減少社会、少子高齢社会の到来はこれまで経験したことのない人口構造の変化をもたらしています。今後は、市税収入の伸び悩みや将来的な人口減少を前提としつつ、少子高齢社会において必要とされる多様で高度な市民ニーズに応えていかなければなりません。そのためには、これまでの人口増加・経済成長を前提とした市政運営の考え方や手法を根本的に見直すことが必要だと思います。所信表明の現状と課題の中では、ダイナミックな改革や合理化を行うとありますが、具体的な施策を伺います。
			2 起業支援や中小企業の持続支援の拡充について	平成27年4月、新たな雇用を図るため、君津市企業誘致条例を一部改正し、従来、製造業のみを対象としていた立地奨励金の対象業種を拡大しました。また、中小企業を対象とした累積投資型立地奨励金を新設しました。企業を誘致すれば地域の活性化と定住人口の増加に繋がると思います。所信表明の産業力の中では、企業誘致に力を注ぐとともに、起業支援や中小企業の持続支援を拡充するとありますが、どのような取り組みを行うのか伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 観光施策について	今後も観光客を増やし、更なる交流人口の獲得のためには、本市の持つ豊富な観光資源や四季折々の魅力を活かした観光振興を推進し、宿泊・滞在の促進及び滞在時間の長時間化に向けた取り組みや、新たな観光資源の発掘が必要となると思います。所信表明の都市力の中では、農業体験や自然探検などグリーンツーリズムの開発とありますが具体的な施策を伺います。
			4 のびのびと力を発揮できる仕組みづくりについて	社会情勢が変化する中、多様化するニーズや、新たな行政課題へ柔軟かつ的確に対応していくために、計画的に職員の育成を行うとともに、質の高い行政サービスを提供できるよう、職員一人ひとりが能力を高めていくことが必要だと思います。所信表明の行政力の中では、職員一人ひとりが、のびのびと力を発揮できる仕組みづくりを行うとありますが、具体的な施策を伺います。
			5 対話する市政について	近年、行政計画を策定するにあたっては、その地域の住民や事業者などの意見を十分に反映することが求められています。その一つが、本市のほか多くの自治体で実施されているパブリックコメントであり、アンケート調査もこの一環と捉えることができます。組織の変革は、対話を通じて、人と人が目的を共有し、気づき、自分の意識を変えて、行動に移すことが大切であると思います。所信表明の中では、積極的に現場に出て、市民との対話を増やし、声を取り入れていくとありますが、どのようなスケジュールと目的で進めていくのか伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		防災対策について	防災行政無線について	現在、防災行政無線はアナログ式ですが、平成34年11月30日までには、現行の電波法に適合したデジタル防災行政無線に移行する必要があります。屋外拡声子局が200基超あり、工期完了までに5年かかると聞いていますが、現在の進ちょく状況について伺います。
7	4 番 船 田 兼 司 予定日時 12月7日(金) 13:15～14:15	所信表明について	1 対話する市政について	対話する市政を基本姿勢としていますが、対話の機会をどのように増やしていくのか、また、市民の声を積極的に取り入れるための仕組みをどのように作っていくのか伺います。
			2 かずさ4市一体の行政運営について	市内だけでなく、近隣自治体との対話を深め、かずさ4市一体の生活圏・経済圏に見合った行政運営の在り方を研究し、推進するとしていますが、君津市総合計画や都市計画マスタープランで示している生活圏・経済圏を変更するのか伺います。また、かずさ4市合併についての本市の方向性について伺います。
			3 財政運営について	ムダを抑えた慎重な財政運営、ダイナミックな改革や合理化を行い、人口減少の中にあっても豊かに暮らせる都市経営を目指していますが、執行中及び執行を予定する事業に関し、見直す予定はあるのか、その検討状況について伺います。
			4 都市力の高いまちについて	住宅整備や転入支援の拡充などで新しい市民を招き入れるほか、子育て支援や教育の充実で転出抑制を図るとしていますが、具体的な施策について伺います。また、君津市の将来人口の目標値について伺います。
			5 水と緑の保全について	新井総合施設株式会社の第1期及び第2期処分場の現在の状況について、また、第3期増設事業への今後の対応について伺います。さらに、他の市町村から同処分場に搬入されている一般廃棄物及び環境施策協力金の状況について伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
8	14番 橋本礼子 予定日時 12月7日(金) 14:30～15:30	市民協働のまちづくりについて	1 君津市市民協働のまちづくり条例の取り組みについて	1 平成21年に施行された、君津市市民協働のまちづくり条例の第4条には、市民の役割として「市民は、自らがまちづくりの主役であることを自覚し、まちづくりへの参加に努めます。」と示されています。市民のまちづくりへの関心を高めていくためには、各地区単位でまちづくり講座や会議を開くなど、行政が情報提供しつつ、身近な地域からよりよいまちづくりに取り組むことが必要だと考えます。市長は市民との対話を大事にするとのことを踏まえ、今後、市民と行政とが協働で取り組むための具体的な方法を伺います。 2 第12条には、市民活動の促進として、市民活動助成制度がありますが、市原市のように、少額でも多くの市民活動団体に活動費を助成するなどして、まちづくりに関わる市民を増やしていく考えがあるのか伺います。
			2 君津市地域公共交通網形成計画の進捗よく状況について	君津市地域公共交通網形成計画の基本方針の1つとされている「地域住民との協働による持続可能な地域公共交通を支える取組み」は、平成28年度、平成29年度に制度・支援メニューの検討を終え、平成30年度からは可能な段階で実施することとなっていますが、取り組み状況について伺います。
		防災施策について	1 自主防災組織の活動について	昨今の相次ぐ想定外の災害に伴い、市民の防災意識が高まっています。本市でも自主防災組織数が増えている中、各組織はどのような活動を行っているのか伺います。 また、市がどのようにその活動をサポートしているのか伺います。
			2 福祉避難所について	大規模災害時には、指定避難所とは別に福祉避難所も設置されることになっていますが、福祉避難所の概要について伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		教育行政について	君津市学校再編第2次実施プログラム構想案について	学校再編第2次実施プログラムの構想案の説明会が実施されましたが、小規模化が進行し、再編の対象となる学校のうち、北子安小学校については、借地という課題があるため、初めから存続を考えていないのではないかと懸念があります。再編は、子どもたちのために実施するものであるため、公平に統合、学区の見直しを行うべきであると考えますが、見解を伺います。 また、当該校について、借地解消のため、どのような取り組みをされたのか併せて伺います。
		福祉行政について	1 障害者雇用推進について	1 市役所庁内における障害者の就労体験の実施状況を伺います。 2 障害者優先調達推進法の取り組み状況を伺います。
			2 第2次君津市障害者基本計画の取り組みについて	1 P D C AサイクルのD O（実行）が行われたものは何でしょうか。 2 毎年一回、中間評価として、分析・評価を行っていますが、計画の実施状況を伺います。 3 相談事業について、特にアンケート調査では、どこに問い合わせをしたらよいかわからないという声が多くありましたが、課題と今後の対策について伺います。 4 地域生活支援拠点等の整備の取り組み状況と市の考えを伺います。
			3 福祉総合窓口の設置について	高齢者と障害者、児童、DV等は相談窓口がばらばらなので、各担当課間の連携が必要です。福祉に関する初期相談とアセスメント及び相談機関の連絡調整を実施する福祉総合窓口の設置について、考えを伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
9	13番 三 浦 道 雄 予定日時 12月10日(月) 10:00～11:00	所信表明について	1 市長の政治姿勢について	1 市民が主役の市政を基本として「対話する市政が基本姿勢だ」と去る11月9日の臨時議会の所信表明で強調されました。市民が主役の市政について、具体的な事例をお伺いします。 2 安倍政権は来年10月から消費税率を10%に上げると公言しています。8%消費税で消費が冷え込み庶民の暮らしが大変な時なのに、消費税を上げたら市民の暮らしは大変になると思いますが、認識をお伺いします。 3 東京湾、相模湾上空を飛ぶとされていたオスプレイが10月18日、君津市役所上空を飛んでいたという複数の目撃者がいたようです。オスプレイ問題に対して市長はどのような認識をお持ちなのか、お伺いします。
			2 広域行政について	水道事業の広域化、火葬場の広域による事業化、ごみの広域廃棄物処理事業とも市民不在で進められています。市民等に対し事業計画の事前説明会をなぜ実施しないのか、お伺いします。
		医療・福祉行政について	1 国民健康保険税の引き下げについて	高い国民健康保険税の引き下げは全国的な課題となっています。高すぎる国民健康保険税は、社会保障政策の矛盾の一つの重大な焦点となっています。国保は加入者の所得が低いにも関わらず、国民健康保険税が高く、滞納が全加入世帯の15%に及ぶなど、構造的危機に陥っています。全国知事会は、この構造的危機を解決するために「1兆円の公費負担増」を政府に要望しています。せめて国民健康保険税を「協会けんぽ並み」に引き下げするために、市も議会も力を合わせて国に求めていると思いますが、見解をお伺いします。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2 介護保険制度の充実について	保険あって介護なしと言われている介護保険制度は「見直し」のたびに保険料が上がり、サービスは低下しています。平成30年8月からは、一定所得以上の方は利用者負担が2割から3割に引き上げられ、深刻な状況と考えます。介護保険制度に対する見解をお伺いします。
			3 デマンドタクシーの充実について	君津市の誇れる事業の1つに、上総・小櫃地区内で運行されているデマンドタクシーがあります。私も時々利用しますが、高齢者など交通弱者に大変喜ばれています。しかし、観光客等が午前8時からの約1時間は予約を取っており地元の住民が利用できない事態が発生しています。地元民を優先利用させるなど、運行の見直しが必要と考えますが、見解をお伺いします。
		教育行政について	1 君津市学校再編第1次実施プログラムの見直しについて	上総地区の小学校3校の統合計画については一時凍結を求めます。去る10月17日に亀山・松丘地区の住民が鈴木前市長に面会し、「上総地区の中央部に新しい学校を建設することを求める要望書」を提出しました。新市長に引き継ぎはされていると思いますが、要望書への見解をお伺いします。
			2 エアコン設置について	来年夏までに普通教室へエアコンを設置するための設計費が予算化されました。来年のいつまでに設置が完了し使用できるのか、期日についてお伺いします。この際、避難場所となる屋内運動場(体育館)にもエアコンを設置すべきだと思いますが、見解を伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		環境行政について	新井総合施設株式会社の産業廃棄物最終処分場 第3期増設事業について	千葉県は、新井総合施設株式会社の産業廃棄物最終処分場第3期増設事業を8月6日に許可しました。市の増設事業へのスタンスは反対の立場と思いますが、この間、どのような対応を千葉県及び新井総合施設株式会社にしてきたのか、9月議会でも同様の質問をしましたが、改めて市の対応について伺います。
10	6 番 野 上 慎 治 予定日時 12月10日(月) 11:15~12:15	市民のための市役所改革について	1 職員がはつらつと働ける職場づくりについて	元気なまちづくりの第一歩は、元気な市役所づくりからです。残業の実態や年休の取得状況について、また、メンタル疾患で休んでいる職員がやや多いと思いますが、その対策について伺います。
			2 職員の意識改革と能力育成について	市職員としての高い勤労観や能力の育成は、市発展の原動力です。マナーを打破した質の高い研修が望まれます。市では職員提案制度を実施していますが、その概略や取り組み状況、成果について伺います。
			3 マイナンバーカードの取得推進について	平成31年2月1日より住民票の写しなどのコンビニ交付サービスが開始されます。この時をマイナンバーカード取得推進の好機と捉え、1月を「マイナンバーカード推進月間」として、1階ロビーで呼びかけをしたり、マイナンバーカード取得の手伝いをしたりしてはいかがでしょうか。見解をお伺いします。
		他市を凌駕する子育て・教育支援について	1 給食費の一部無償化について	教育費負担の軽減策として給食費の無償化を実施している自治体が少しずつ増えています。現在も要保護・準要保護の家庭は実質無償となっていますが、所得があっても子どもが多い家庭にとっては給食費の負担は重いものがあります。また、教育費の負担の重さが、少子化の原因のひとつにもなっています。そこで、所得に応じて、第3子以降は給食費を無償とし、教育費負担の軽減を図ってはいかがでしょうか。見解をお伺いします。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2 奨学金制度の改善について	貧困の連鎖を無くすためにも奨学金制度は大事な制度です。しかし、市の奨学金は予算が確定してからの募集となるため、活用しづらい面があります。固定費として、募集を早めたらいかがでしょうか。 また、3人目以降の奨学金の返済を半額免除したり、卒業後、市内在住者も半額免除したりと、教育費負担の軽減策、若者の定住促進策となるような制度に改善したらいかがでしょうか。見解をお伺いします。
			3 教育環境の整備について	経済的な支援だけでなく、教育環境の整備が子ども達のために重要です。現在進行中の学校再編は、まさに子ども達の教育環境の改善のために実施されていると認識していますが、見解をお伺いします。 また、第2次実施プログラム構想案の説明会が行われていますが、市民からどのような意見が出されているのかお伺いします。
			4 教育相談体制の充実について	子ども達の周りには、いじめや不登校、虐待や貧困など様々な問題があります。それらの問題に素早く対応し解決するためには、教育相談体制がしっかりと構築されている必要があります。これまでも、SNSによる相談活動やスクールソーシャルワーカーの導入を要望してまいりましたが、その進ちょく状況をお伺いします。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		安全・安心のまち づくりについて	1 地区防災計画の策定推進について	自然災害が激甚化し、多発する中で命を守る対策のさらなる充実・強化が求められています。7月の西日本豪雨災害では、地区防災計画の有効性が立証されました。地区防災計画は、地域住民が主体になってつくる計画ですが、行政の働きかけがなければ策定は進まないと思われます。地区防災計画の策定状況と今後の推進についてお伺いします。
			2 防災意識の啓発について	市民の防災意識を継続的に啓発することが、自助・共助の力を高めていきます。そこで、市民文化ホールでの行事を活用しての啓発を要望していましたが、その進ちょく状況についてお伺いします。
			3 木造住宅耐震化の推進について	本年1月、南海トラフ巨大地震が30年以内に発生する確率が70％程度から70～80％へと引き上げられました。 今年に入って震度4以上の地震が、全国各地で20回以上発生しています。 国は、2020年までに木造住宅の耐震化率約95％、2025年までにほぼ100％を目標に掲げています。本市の耐震化の進ちょく状況と耐震化推進のための取り組みについてお伺いします。
		積極的な就労支援 について	1 君津版ハローワークの開設について	人口減少に歯止めをかけ、若者の定住促進や移住者の増加のためには、住宅と共に仕事が必要です。仕事斡旋の窓口となるハローワークには、求職者と企業のマッチングや地元企業の求人の掘り起こし、生活困窮者や障害者の就労など、今まで以上のきめの細かな就労支援が求められます。そのためには、君津版ハローワークの開設が必要不可欠です。早期の開設を要望しますが、見解をお伺いします。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2 生活困窮者自立支援の充実について	国においては本年10月、「就労準備支援」「家計改善支援」が任意から努力義務になり、「支援会議」が法定化されるなど、生活困窮者に対する支援が強化されています。その背景には団塊ジュニア世代に多いといわれている無業者、ひきこもりが40代50代となり、このまま放置しておけないという差し迫った現実があります。本市の生活困窮者自立支援に関する現状と今後の推進策について伺います。
11	11番 須永 和 良 予定日時 12月10日(月) 13:15~14:15	住宅供給施策について	1 マンション供給について	住宅として戸建てを希望する人もいればマンションがいいという人もいます。利便性の高い土地にマンションを建設することは効率的な土地活用であり、定住人口を増やすために必要な事業です。木更津市においては国の優良建築物等整備事業制度を使い民間事業者が2棟のマンション建設を進めています。人口増加につなげるため、本市でもこの事業を使ったらどうかと求めてきましたが、土地所有者への訪問・説明は行ったのか伺います。
			2 宅地開発について	前回の質問で、定住人口を増やすためには受け皿となる宅地の供給は必要であるとしながらも、新たな土地区画整理事業は難しいとの答弁でした。そのため、開発行為により住宅地を増やすことが必要です。どのようにして開発行為を推進していくのか、方針を伺います。
			3 県への働きかけについて	なんとか本市の人口を増加させたいという思いから、様々な方法で住宅供給施策を考え、提案をしてきました。すると、最終的には県の許認可にいきつきます。駅周辺の用途地域の変更や市街化区域の拡大など、県の許認可が必要なことにおいて県へ相談等をしているのかどうか伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		環境保全について	1 産業廃棄物最終処分場について	1 市内産業廃棄物最終処分場の第3期増設事業に関して、すでに増設事業本体の法定外公共物排水流出許可申請に許可を出していますが、なぜ許可を出したのか、その理由を伺います。 また、この許可の時点では県は「処分場の保留水が漏れても地下水は汚染されない」という見解でした。県の見解が「漏れれば汚染される可能性がある」となったのであれば、君津市法定外公共物の管理に関する条例第10条第5号に基づき、許可を取り消し、再度審査をするべきと考えますが、見解を伺います。 2 事業者から増設工事に伴うベースキャンプの法定外公共物排水流出許可申請書が提出されていますが、これは市が管理する青道への排出を許可するかどうかというものです。御腹川の源流であるこの青道の水質等保全に関連することですので環境基本法に基づき環境審議会に諮問するべき案件だと考えますが、見解を伺います。 3 前回の質問において、「市が市営林道の通行許可を出す前に、林道地権者に対し処分場関連の車両が通行する許可を取るべき」との質問に対し、「林道建設時には地権者の同意を得ている」という答弁を繰り返していました。市民の立場に立てば、林道建設の同意でなく処分場関連車両が通ることの同意を得るべきです。同意が無ければ、君津市林道管理規程第5条に基づき林道の通行を禁止すべきではないかと考えますが、見解を伺います。 4 市長の所信表明には処分場という言葉も産業廃棄物という言葉も出てきません。増設中止の公約は守られるのか、見解を伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		市役所の組織改編について	2 メガソーラーの許可制について	太陽光発電所は大規模な計画が急増し、森林伐採や景観破壊といった住民とのトラブルが相次いでいることから国は環境アセスメントの対象に加える方針を固めました。現状では土砂災害警戒区域でも設置できるなど、国の法整備が追いついていません。 兵庫県神戸市のように太陽光パネルの設置は届け出制とし、また、大規模なものは許可制とし、発電終了後の撤去費用を積み立てさせるなど、規制が必要ではないかと考えますが、見解を伺います。
			1 部を横断する部署の設立について	現状では、総務部、企画政策部、財政部などの各部が横並びで仕事をしていますが、これでは部がまたがる事業に対して、互いに遠慮・牽制をしてしまい事業が前に進みません。 組織図でいうところの副市長の下にくるような組織が必要だと思います。そこで、昔の市長公室のような筆頭部の設立を提案しますが、見解を伺います。
			2 スポーツ担当部署の設立について	現状では、教育部の体育振興課が学校体育とスポーツ振興を一緒に所管していますが、これは時代遅れのやり方だと考えます。これではスポーツを通じた交流人口の増加や経済発展で大きなチャンスロスをしています。スポーツ振興課として教育部から切り離して考えるべきだと思いますが、見解を伺います。 また、関連して郡ダムで水上スキーを行うとしたら所管はどこの部署なのか伺います。
		学校再編について	1 君津市学校再編第1次実施プログラムについて	鈴木市政で策定した第1次実施プログラムについては、今までのとおり実施するという事で良いのか伺います。
			2 君津市学校再編第2次実施プログラム構想案について	先日、第2次実施プログラムの構想案が示されましたが、この構想案の内容は市長も了承済みということで良いのか伺います。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 君津高校と上総高校の統合について	君津高校と上総高校の統合が公表された今年度の上総高校園芸科の入学者は、定員40名に対し18名で、前年度と比べ、半数以下に減っています。これは県の出した方針が生徒たちにとっては全く魅力が無かったことを表しています。市の所管事項でないことは承知していますが、もし今年度ゼロ名だったらどうするのか、そういった先のことについてあらゆる想定を県と話しておくことは市として重要だと考えます。市の見解を伺います。
12	2番 下田 剣 吾 予定日時 12月10日(月) 14:30～15:30	市長の所信と選挙 公約について	1 市長の政策を実現するために	1 「君津はもっと元気になる。」という力強い所信表明に、多くの市民の方が期待をしています。日本中で多くの市町村のリーダーがまちを変え、市役所を変え、市民の幸せを増やしています。一方で長年の慣習や様々なつながりによって、実際に改革を実現していくのは容易でないことも各地の取り組みが示すところです。石井市長には、ぜひ、選挙公約を着実に実行していただきたいと考えます。 4年の任期は長いようにも思えますが、予算の編成は4回しかできないことを考えると、選挙で約束した政策の順位付けと、裏付けとなる財源をしっかりと確保することが大切だと考えます。 特に行政は年度や市役所独特のスケジュールの限界があります。そこで最も大切なのは、いつまでに何をするのか、公約実現の工程表を示すことだと考えます。工程表が示されれば、市民の皆様も、議会も、ひいては職員も安心して仕事に取り組むことができます。予算案や総合計画への反映も順調に進むと考えます。工程表の公表はいつ頃になるでしょうか、目標をお聞かせください。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
				2 市長の公約実現に大切なのが、それを支える特別職だと考えます。現在は前市長が任命された方々ですが、それぞれの任期満了後、市長が主導して本格的に決める副市長や、教育長、また、今は活用されていない政策監にどのような人材を求めたいと考えているのか、お聞かせください。 3 どのような政策もやはり財源が重要です。新市長の所信で明かされた本市の課題「ムダを抑えた慎重な財政運営」の「ムダ」、また、「ダイナミックな改革や合理化」の「改革、合理化」というのは、具体的にはどのような事業や支出をお考えなのか、現時点で構いませんので、お聞かせください。
			2 通院や買い物に困る交通弱者について	市長の選挙公約の中でも特に、「買い物や外出を支援する、乗り合い交通網を整備」という政策には大きな期待が高まっています。上総・小櫃地区だけでなく、特にバス路線もなく、バス停まで歩けない小糸地区や周南地区の一部などにもデマンドタクシー（乗合交通）が導入されるのは市民の悲願です。先日も三直地区の免許を返納された高齢夫婦の方から、「週二回の病院はタクシーしかなく、買い物も自由に出られない、人生が暗い思いだ」との声が寄せられました。乗合交通はいつ頃実現していただけるのか、お聞かせください。
			3 選挙公約の「健康寿命を伸ばせますか？YES」について	長寿の時代の中でも、健康な市民の方がたくさんいる君津市が私も理想だと考えます。公約実現のために、本市の現在の平均寿命と健康寿命、また課題についてお聞かせください。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			4 受動喫煙防止対策について	健康都市実現のためには受動喫煙防止対策は必要だと考えます。特に影響が心配される子どもや妊婦の方などが健康被害を受けないために、具体的な取り組みが必要です。議会ではコチニン測定の決議を、市では啓発の取り組みなどをしてきましたが、石井市長が考える新たな受動喫煙防止対策とはどのような取り組みなのでしょうか、お聞かせください。
			5 選挙公約の「災害から市民生活を守れますか？YES」について	水害対策の見直しと土砂崩れの危険性が高い箇所から順次実施する対策の中身はどのような事業をお考えか、お聞かせください。 また、特に大規模災害時には市長の決断が求められたり、その後、判断の責任を問われたりという場面も増えてきました。しかしながら、相手は自然であり、市民を守るために何を基準に判断するのか、難しい場面も想定されます。首長向けの研修や支援制度を活用すべきと考えますが、見解をお聞かせください。
			6 子育てしやすいまちにするために	1 市長が選挙公約で約束されたように、保育園や放課後児童クラブが整備された子育てしやすいまちになることが、本市が元気になるために重要な政策だと考えます。その一つとして「待機児童の解消」とありますが、現在の待機児童の状況をお聞きます。また、公立保育園の耐震化率と近隣3市との比較をお聞かせください。 2 不幸にも虐待などに遭う子どもたちは増え続けています。社会として子どもたちを守るために、国も進め始めた里親などの政策を充実させ、子どもたちを助けていただきたいと考えますが、見解をお聞きかせください。

平成30年第4回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			7 教育について	選挙公約の「誰でも学びなおせる「君津市民中学」の開校」はどのような事業でしょうか。いつ頃の開始を目標としているのか、お聞きかせください。
		国の支援の活用について	緊急防災減災事業債や公共施設等適正管理推進事業債などの活用について	石井市長の選挙公約実現のためにも、国の支援、特に未来を見すえた事業を支援する枠組みを活用していくことが重要だと考えます。緊急防災減災事業債と公共施設等適正管理推進事業債の本市の近年の実績と、現時点での今後の活用予定をお聞きかせください。
		有害獣対策について	ヘビウリを活用した有害獣対策について	本市の鳥獣害被害は農業に大きな悪影響を与えています。特に猿は駆除なども進まず、大きな被害があります。栃木県では農協が中心となり、蛇に似た南アジア原産のヘビウリという野菜を栽培し、大きく被害が減ったこと、また、ナスのように炒めたり、煮たりすれば、美味しく食べられる珍しい野菜ということで、特産品としても研究されていることが報道されています。ぜひ本市の、特に猿の被害に悩む地域で、こうした対策に取り組むことで被害を減らすことができないか、見解をお聞かせください。
		消防団員と家族の負担軽減について	かずさ4市でも突出する本市消防団の負担と現状について	東日本大震災以降、災害時の役割も期待され、重要性が増す消防団ですが、人口減やサラリーマンの増加などの社会の変化に合わせた見直しが遅れています。例えば、消防団の定員は木更津市600人、富津市552人、袖ヶ浦市467人ですが、本市は960人です。その結果、「入団者がなければ退団できない」という不文律ができ、かつて5年程度だった任期は延び続け、20年以上にわたる方が増えています。本人や家族の負担は何倍にも増えており、改善が必要です。現状を把握するため、1回以上の活動の実態があり、団員報酬が振り込まれた消防団員は現在何人いるのか、お聞かせください。